

(別添)

令和3年度

卓越した技能者の表彰の推薦に係る留意事項

推薦書類の作成方法・提出方法・記載例

厚生労働省人材開発統括官付

能力評価担当参事官室

目次

推薦書類の作成・提出方法

- 1. 推薦書類の作成・提出について P. 1
- 2. 提出書類の取扱いについて P. 2

推薦書類等

- 別紙1 都道府県知事又は全国的な事業主団体等による推薦 P. 3
- 別紙2 一般の推薦者による推薦 P. 5

調書記載要領等

- 別紙3 調書記載要領 P. 7
- 別紙4 【必読】推薦書類一式作成上の具体的留意点 P. 14

記載例

- 様式第2の1 被推薦者名簿（都道府県） P. 17
- 様式第2の2 被推薦者名簿（団体） P. 18
- 様式第2の2 被推薦者名簿（一般） P. 19
- 様式第3の1 調書（都道府県・団体・一般共通） P. 20
- 専門用語集 P. 22
- 写真様式（参考様式） P. 23
- 様式第4の1・第4の2 推薦理由書・賛同理由書（一般） P. 24

推薦書類の作成・提出方法

1. 推薦書類の作成・提出について

(1) 推薦書類一式について

推薦者は、被推薦者ごとにア又はイの書類をウの調書記載要領等に基づき作成の上、一括して提出すること。

なお、必要書類以外のものは提出しないこと。

ア 都道府県知事又は全国的な事業主団体等による推薦

別紙1 (P.3～P.4) によること。

イ 一般の推薦者による推薦

別紙2 (P.5～P.6) によること。

ウ 調書記載要領等

(ア) 調書記載要領 (別紙3 : P.7～P.13)

(イ) 【必読】 推薦書類一式作成上の具体的留意点 (別紙4 : P.14～P.16)

(ウ) 調書の記載例 (別紙5 : P.17～P.26)

(2) 推薦書類の各様式の入手について

推薦書類の各様式は、厚生労働省のホームページ内「卓越した技能者（現代の名工）」表彰制度コーナーからダウンロードすること。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/meikou/index.html

(3) 推薦書類の提出について

推薦期間内（令和3年2月1日（月）～令和3年3月31日（水）18時15分）に、推薦書類を下記担当係に郵送により提出すること。（USBやCD-ROMなどのデータとして提出しないこと。）

厚生労働省人材開発統括官付能力評価担当参事官室技能振興係

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎第5号館

TEL : 03-5253-1111 (内線 : 5968)

併せて、被推薦者名簿（様式第2の1、様式第2の2又は様式第2の3）の電子媒体（EXCEL形式）を以下のメールアドレスまで送付すること。

MAIL : gino-shinko@mhlw.go.jp

(4) 提出書類についての留意事項

提出書類は返却しないので、返却を要する資料は提出しないこと。

2. 提出書類の取扱いについて

(1) 個人情報の取扱い

提出書類に記載された調書及び個人情報は、卓越した技能者の審査及び表彰以外の目的には使用しない。

ただし、被表彰者については、顕彰のために、氏名、年齢、職種、就業先及び技能功績概要を公表し、また、行政等の広報誌、ホームページ等に掲載することとなるので、推薦者はあらかじめ被推薦者に説明し、同意を得ること。

(2) 都道府県に対する被表彰者氏名等の提供について

全国的な事業主団体等又は一般の推薦者により推薦された被表彰者については、都道府県における顕彰のために、提出書類に記載された個人情報（被表彰者の氏名等）を就業先の都道府県知事へ提供する場合があるので、併せて同意を得ること。当該提供に併せて推薦者の氏名及び連絡先を都道府県知事に提供する場合があるので、あらかじめ承知しておくこと。

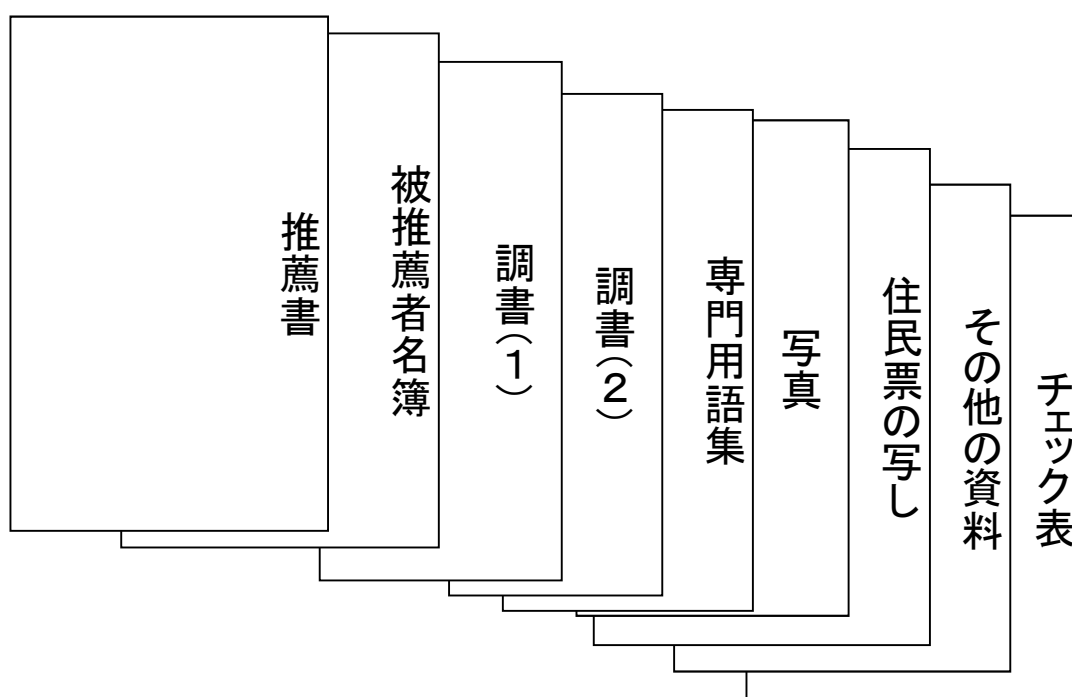
都道府県知事又は全国的な事業主団体等による推薦

推薦書類一式は、以下の書類を P. 1 の方法により作成すること。
なお、記載にあたっては P. 18 以降の記載例を参考にすること。

1. 推薦書（1部）
 - 都道府県知事（様式第1の1）
 - 全国的な事業主団体等（様式第1の2）
2. 被推薦者名簿（1部）
 - 都道府県知事（様式第2の1）
 - 全国的な事業主団体等（様式第2の2）
3. 調書（1部）
 - 都道府県知事（様式第3の1）
 - 全国的な事業主団体等（様式第3の2）
4. 専門用語集（様式任意）（1部）
5. 写真（参考様式）（A4版紙面片面出力）（10枚以内）
6. 住民票の写し（被推薦者本人の氏名と生年月日が確認できれば可。A4版に統一又はA4版の紙面に貼り付けたもの）（被推薦者1人につき1部）
7. その他の資料
8. チェック表（様式第5の1）（1部）

推薦書類一式(都道府県・団体推薦)

(全て片面出力とした上で、ホチキス・パンチ等はせず、クリップ留めし、クリアファイルに入れること。(ファイル等に綴らないこと。))



※「推薦書」、「被推薦者名簿」、「チェック表」については、推薦人数に関わらず1部だけ作成し、添付すること。

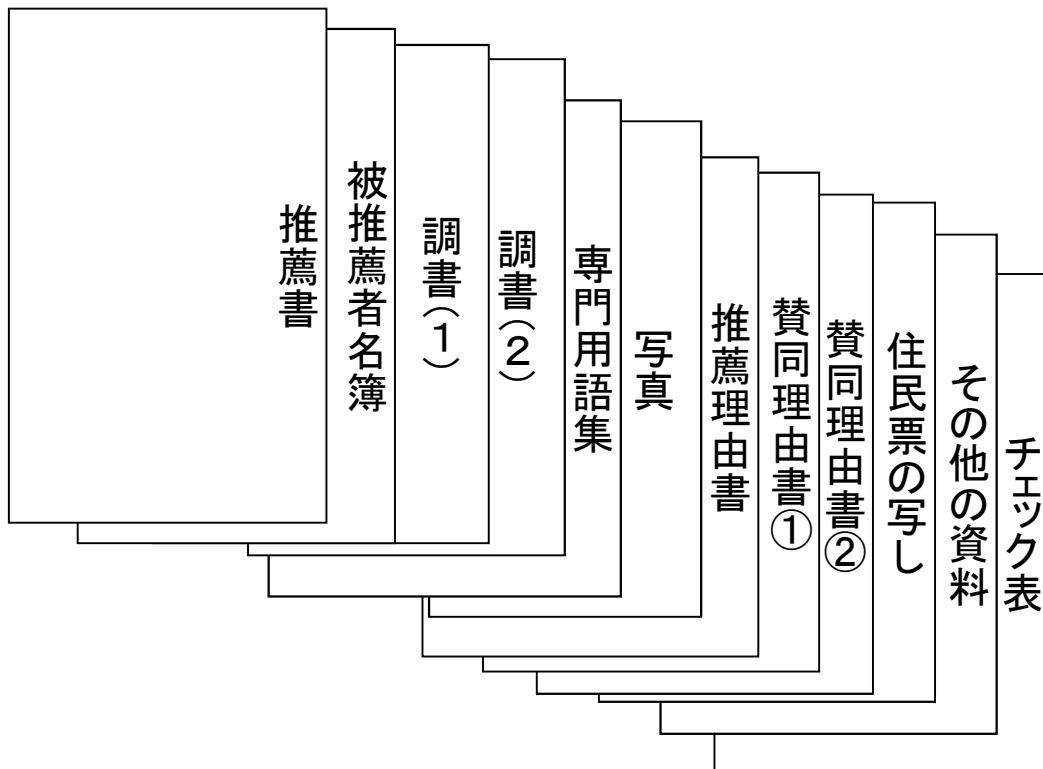
一般の推薦者による推薦

推薦書類一式は、以下の書類をP.1の方法により作成すること。
なお、記載にあたってはP.18以降の記載例を参考にすること。

1. 推薦書（様式第1の3）（1部）
2. 被推薦者名簿（様式第2の3）（1部）
3. 調書（様式第3の3）（1部）
4. 専門用語集（様式任意）（1部）
5. 写真（参考様式）（A4版紙面片面出力）（10枚以内）
6. 推薦理由書（様式第4の1）
7. 賛同理由書（賛同者2名分）（様式第4の2）
8. 住民票の写し（被推薦者本人の氏名と生年月日が確認できれば可。
A4版に統一又はA4版の紙面に貼り付けたもの）（1部）
9. その他の資料
10. チェック表（様式第5の2）（1部）

推薦書類一式(一般推薦)

(全て片面出力とした上で、ホチキス・パンチ等はせず、クリップ留めし、クリアファイルに入れること。(ファイル等に綴らないこと。))



調書記載要領

本調書は、被推薦者を審査するための基本資料となるものである。したがって、以下に留意の上、必要事項を簡潔明瞭かつ的確に所定欄に記載すること。

なお、調書（2）の「卓越した技能の概要」欄について、一葉で記入することが困難な場合は、上限三葉まで記載して差し支えないこと。また、二葉目以降は都道府県番号（団体推薦及び一般推薦の場合は不要）、都道府県名又は団体名（一般推薦の場合は不要）、職業部門、職種名及び氏名を記入の上、必要な欄のみ記入すること。

（留意事項）

昨年度（以前）の被推薦者を改めて推薦する場合、調書内容等が過去の推薦調書と同じものが多々見られるので、調書内容や写真を更新するなど工夫すること。

【調書1】

1. 「職業部門」欄

被推薦者が従事する職業の職種が属する本要領の別表に定める職業部門の番号を記入すること。

2. 「職種名（1）及び（2）」欄

被推薦者が従事する職種を別表に例示している職種名を参考に記入すること。

なお、職種名や部門が不明な際は以下を参照すること。

厚生労働省編職業分類（ハローワークインターネットサービス内）

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/info/mhlw_job_dictionary.html

3. 「氏名」欄

戸籍に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付けること。特に、旧字、新字、略字等は正確に記入すること。

4. 「生年月日」欄

戸籍に記載されている生年月日を記入し、() 内に令和3年11月1日現在の満年齢を記入すること。

5. 「現住所」欄

郵便番号、現住所及び電話番号を略さずに記入すること。

6. 「就業地」欄

「事業所名」欄には、雇用されている場合にあつては雇用事業所名を、自営している場合にあつては屋号等をそれぞれ正確に、また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに記入すること。

なお、「事業所全体の従業員数」欄における人数には、被推薦者も含めた人数を記載すること。(例えば、就業者が被推薦者のみという事業所の場合は、0名とはならず、1名となる。)

7. 「職歴」欄

(1) 「職歴」欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を記入すること。

なお、団体等における職歴、公職歴及び団体歴のうち、本表彰と直接関係が無いものは記入しないこと。

(2) 「在職期間」欄

その職の始期及び終期を記入すること。

なお、現職については、令和3年11月1日をもって終期とすること。

(3) 「在職年月数」欄

月単位で計算した在職年月数を記入すること。

(4) 「重複を除く年月数」欄

表彰に係る技能を要する職種に従事していた期間の合計を記入すること。

ただし、同一の時期に2以上の職にあった場合には、どちらか一方の職にあった期間とし、これを重複する期間を除外すること。

8. 「表彰」欄

表彰（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入すること。）
の種類ごとに表彰年月及びその事由を記入すること（表彰を証する書面の写しを
全て添付すること）。

なお、技能に関連する表彰でない、例えば「感謝状」等は記入しないこと。

9. 「免許・資格等」欄

免許、資格、特許、実用新案等を有する者についてはその種類と取得年月を記入すること（免許等を証する書面の写しを全て添付すること）。なお、本表彰と直接関連がない、例えば「普通自動車運転免許」等は記入しないこと。

なお、職業訓練指導員免許の取得歴もしくは技能検定委員の委嘱歴について、
該当する場合はその種類と取得（委嘱）年月を本欄に記載すること（免許や委嘱
等を証する書面の写しを全て添付すること）。

10. 「高度熟練技能者」欄

該当する場合は、認定された年度、業種、職種を記入すること（認定を証する
書面の写しを全て添付すること。）。

11. 「ものづくりマイスター」欄

該当する場合は、認定された年度、職種を記入すること（認定を証する書面の
写しを全て添付すること。）。

12. 「全技連マイスター」欄

該当する場合は、認定された年度、職種を記入すること（認定を証する書面の

写しを全て添付すること。)。

13. 「技能グランプリ入賞歴」「技能五輪国際大会入賞歴」「技能五輪全国大会入賞歴」欄

該当する場合は、大会名、職種、入賞順位を記入すること（入賞を証する書面の写しを全て添付すること。）。

14. 「技能検定」欄

技能士の名称（○級○○技能士）と取得年月を記入すること（技能士証の写しを全て添付すること。）。

【調書2】

1. 「卓越した技能の概要」欄

技能者表彰審査委員が具体的に評価する欄であるので、その卓越性を的確に把握し、評価できるよう無意味な修飾語を用いることなく具体的かつ分かりやすく記載すること。

また、用語等については、全てふりがな及び簡単にわかる説明（提出書類「専門的・技術的分野に関する用語等の資料」）を付すこと。

(1) 「技能の概要」欄

関連する他の資料（別紙1 7. その他の資料 及び 別紙2 9. その他の資料）に合わせて、被推薦者の従事する職種、技能の水準、範囲、特徴又は他の技能者との比較等の観点から卓越した技能を有するものであることが判定できるよう、特に技能の質的な面を中心に具体的に記入すること。

記述に当たっては、客観性（単に「非常に優れている」ではなく、どのように優れているのか数値で表す等）、明確性（改善実績における本人の技能の関わりの明示等）に心がけること。また、被推薦者の功績・経歴が中心となっているケースが見られるので注意すること。

なお、雅号等を有する者については、その雅号等を本欄に記載しても差し支えないこと。

(2) 「功績・貢献の概要」欄

関連する他の資料に合わせて、その者が当該技能をもって製作又は建造等をしたもので、当該被推薦者の技能の程度の判断に資するとともに、企業、産業界及び社会に対する貢献度等において高く評価されているような代表的な事績を具体的に記入すること。

(3) 「後進指導育成の概要」欄

被推薦者が後進の指導・育成に当たった方法、対象及び範囲等を具体的に記入すること。

(4) 「現役性」欄

被推薦者が現役の技能労働者であるかを確認するため、その者の有する技能に関連した職種における1日平均の就業時間又はその者の有する技能に関連した職種に専ら就業しているか否か等を具体的に記入すること。

2. 「過去の推薦回数」欄

被推薦者が、過去において厚生労働大臣に推薦された年度を記入するとともに、その推薦回数の合計を記入すること。

なお、被推薦者が初めて推薦される場合は計0回と記入すること。

3. 「推薦順位等」欄

(1) 「推薦順位」欄（団体および一般推薦の場合は不要）

被推薦者の全部門における推薦順位を記入すること。

(2) 「推薦総数」欄（団体および一般推薦の場合は不要）

被推薦者の全部門における総数を記入すること。

(3) 「選考対象者総数」欄（一般推薦の場合は不要）

被推薦者の推薦に当たり、選考の対象とした全ての員数を記入すること。

なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の市区町村、商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載することとし、推薦基準を満たしうる潜在的な人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意すること。

4. 「推薦者、推薦団体又は賛同者及び推薦理由」欄

推薦者、推薦団体及び賛同者の住所、電話番号、名称（又は氏名）及びその推薦理由を記入すること。都道府県推薦の1位の者に関しては、他の候補者と比較して最上位とした理由についても併せて記入すること。

【必読】推薦書類一式作成上の具体的留意点

【被推薦者名簿】

都道府県知事からの推薦にあつては、被推薦者数が多く 1 枚に記入することができない場合は、2 枚目以降に記入すること。

一般推薦においては、担当者連絡先の「電話」「E-mail」は日中に必ず連絡がつくものを記入すること。

【調書】

作成した文書が以下の事項に該当する場合は、それぞれの留意点を踏まえ修正すること。

1 表現が客観性に欠ける

(例)「非常に優れている」

この場合、他と比較してどう優れているか数値等で表現するよう工夫すること。

(例)「短時間で加工できる」

この場合、「通常 3 時間かかる加工を 1 時間でできる」等具体的に表現すること。

(例)「精度が向上した」

この場合、「標準公差 $\pm 0 \mu m$ が $\pm \Delta \mu m$ に向上した」等具体的に表現すること。

2 共同作業による場合、その実績における本人の関わりが不明確

この場合、グループ作業や大型製品等の場合、本人が関わった部分について、個人の技能に特化し、具体的に記載すること。

3 技能・功績の実績内容が、技術的要素のみ

この場合、卓越した技能を有する者であることが判断できるよう、特に技能の質的な面を中心にわかりやすく記載すること。

4 製品やサービスの紹介のみで、技能の関与が不明確

この場合、その製品の製作過程又はサービスの提供過程のどこで本人の技能が活かされたか明確にすること。

5 地場産業における活躍に限定され、技能の相対的レベルが掴みにくい

この場合、全国の候補者の中から選定することから、全国レベルで見た場合に、他の技能者と比較してどの程度優れているのか、内容を把握している場合は記載すること（地域に限定されるような性質の技能で、全国レベルの評価が難しい場合は、その地域における地場産業への貢献内容について記載すること）。

【専門用語集】

専門的・技術的分野に関する用語名、ふりがな及び解説を付したものとすること。

【写真】

1 添付されている写真が少ない又は不鮮明

写真は、被推薦者の製作した製品や作業風景を視覚的に確認し、調書を補完し、審査の一助として被推薦者の能力や技術を明確に審査員が判断できるよう添付するものである。このため、被推薦者の技能レベルや実際の作業風景・作品等が分かる大きくて鮮明なものを可能な限り複数枚（A4紙面片面出力10枚以内）添付すること。

2 写真に対する解説文章を記載

作業風景や作品の写真において、どのように被推薦者の卓越した技能が発揮されているか簡潔明瞭に可能な限り記載すること。

3 本人と分かる直近1年以内の作業風景の写真を1枚以上添付

現役性の有無を確認するために、客観的に本人と分かる者が作業している直近1年以内（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）に撮影された写真を1枚以上添付すること。（全ての写真が、「手だけしか写っていない」、「後ろ姿の写真」など本人と確認しづらい写真とならないように留意すること。また複数人写っている写真の場合はどれが本人か分かるようにすること。）

【その他資料】

被推薦者に係る技能の程度及び功績を確認することのできる資料等については、返却を要しない以下のような書類を添付すること。なお、資料はA4版紙面片面出力とし、必要最小限の分量とすること。（DVDやUSB等の電磁的記録媒体を添付しないこと。また、本人の作品や製品及び製作に使用した素材なども添付しないこと。）

（1）新聞記事等

本人の実績に関する新聞、雑誌、業界紙の記事等。

該当部分の抜粋とし、雑誌等の書籍をそのまま添付しないこと。

（2）説明書、図面、写真等

本人の製作物、発明、考案又は改善等に関する説明書、図面等。

改良前と改良後の比較をなるべく数量的に表現し、分かりやすくすること。

（3）特許、実用新案等の資料

特許、実用新案等については、発明者名（共同の場合は、担当分野を明らかにすること。）、所有権者名、内容、取得年月日を明らかにする資料（例：公開特許公報など）の写しを添付すること。

(4) 表彰、職業能力検定等に係る資料

表彰歴、免許・資格等の取得歴（訓練指導員免許の取得、技能検定委員の委嘱等を含む。）、技能検定、高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスター、技能グランプリ等各種競技大会の入賞歴等を記入した場合には、当該事跡を明らかにする書類の写しを漏れなく全て添付すること。

(様式第2の1)

被推薦者名簿 (記載例)

(注) 令和3年11月1日時点での満年齢を御記入ください。

(注) 必ず元号(M、T、S、H)で御記入ください。

都道府県名 () 選挙対象者総数 () 名

No.	推薦 順位	職業 部門	職種名 (1)	職種名 (2)	生年月日	年齢	氏名	ふりがな	性別	就業地 (都道府県名)	就業地 (事業所名)	事業所全体の 従業員数	過去の 推薦回数	摘要
1	1/3	5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	S40.7.6	56	技能 秀一	ぎのう しゅういち	男	〇〇県	〇〇電気㈱〇〇工場	500	0	
2	2/3		・・・											
3	3/3		・・・											
4														
5														

担当者連絡先

連絡担当者 (部署名)	
連絡担当者 (氏名)	
住所	〒
電話	
FAX	
E-mail	

- (留意事項)
1. 選挙対象者数については、実施要領3. (1) アを参照すること。
 2. 被推薦者の記載は推薦順位順とすること。
 3. 「職業部門」等の欄は、「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参照すること。
 4. 「年齢」については、別に示す年月日時点の満年齢を記入すること。
 5. 「摘要」欄は、名前が外字、特殊文字等の場合に特記すること。

被推薦者名簿 (記載例)

団体名 () 選考対象者総数 () 名 (注)必ず元号(M、T、S、H)で御記入ください。 (注)令和3年11月1日時点での満年齢を御記入ください。

No.	推薦 順位	職業 部門	職種名(1)	職種名(2)	生年月日	氏名	ふりがな	性別	就業地 (都道府県名)	就業地 (事業所名)	事業所全体の 従業員数	過去の 推薦回数	摘要
1		5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	S40.7.6	技能 秀一	ぎのう しゅういち	男	〇〇県	〇〇電気㈱〇〇工場	500	0	
2			・・・										

担当者連絡先

連絡担当者 (部署名)	
連絡担当者 (氏名)	
住 所	〒
電 話	
FAX	
E-mail	

- (留意事項)
1. 選考対象者数については、実施要領3.(1)イを参照すること。
 2. 被推薦者の記載は推薦順位順とすること。
 3. 「職業部門」等の欄は、「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参照すること。
 4. 「年齢」については、別に示す年月日時点の満年齢を記入すること。
 5. 「摘要」欄は、名前が外字、特殊文字等の場合に特記すること。

被推薦者名簿 (記載例)

(注)必ず元号(M、T、S、H)で御記入ください。

(注)令和3年11月1日時点での満年齢を御記入ください。

一般推薦者名 ()

No.	職業部門	職種名(1)	職種名(2)	年月日	年齢	氏名	ふりがな	性別	就業地(都道府県名)	就業地(事業所名)	事業所全体の従業員数	過去の推薦回数	摘要
1	5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	S40.7.6	56	技能 秀一	ぎのう しゅういち	男	〇〇県	〇〇電気㈱〇〇工場	500	0	

担当者連絡先

連絡担当者	
住所	〒
電話番号	
FAX	
E-mail	

- (留意事項)
1. 選考対象者数については、実施要領3.(1)ウを参照すること。
 2. 被推薦者の記載は推薦順位順とすること。
 3. 「職業部門」等の欄は、「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参照すること。
 4. 「年齢」については、別に示す年月日時点の満年齢を記入すること。
 5. 「摘要」欄は、名前が外字、特殊文字等の場合に特記すること。

調書の記載例

(都道府県・団体・一般共通)

(記載例)

調 書 (1) 都 道 府 県

(様式第3の1)

「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参考に職種を記入すること。(P.7 参照)

都道府県番号	都 道 府 県 名	職業部門	職 種 名 (1)	職 種	
〇〇	〇〇県	5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	
ふりがな	ぎのう しゅういち	職 歴	在 職 期 間	在職年月数	重複を除く年月数
氏 名	技 能 秀 一				
生年月日	明治 大正 昭和31年12月10日(64歳) 男・女 平成	△△電機㈱に電機工として就職 〇〇電機㈱〇〇工場に電子機器組立工として入社	自昭和49年4月1日 至昭和51年3月31日	2年0月	46年7月
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇	伍長	自平成3年3月16日 至平成5年3月31日	2年0月5日	
	TEL 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	〃 作業長	自平成5年4月1日 至平成12年3月31日	7年0日	
就業地	事業所名 〇〇電気㈱〇〇工場 本人を含む従業員数を記載すること。(P.8参照)	〃 係長として現在に至る	自平成12年4月1日 至令和3年11月1日	20年7日	
	所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号 TEL 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		現職については、別に示す年月日をもって終		
表彰	〇〇に係る卓越技能について表彰 <その他の表彰> (3)〇〇県職業能力開発協会会長表彰(平成〇〇年〇月) 技能検定の推進貢献について表彰		免許 資格等 (※)	免許 資格等 取 得 年 月	技能検定委員はこの欄に必ず記載し、全て確認資料を添付すること。
	高度熟練技能者	ものづくりマスター 全技連マスター 技能グランプリ入賞歴 技能五輪国際大会入賞歴 技能五輪全国大会入賞歴	〇〇県技能検定委員(機械) 毒物劇物取扱者(一般) 特許123456「〇〇用装置の考案」	平成〇〇年〇月 ～平成〇〇年〇月 平成〇〇年〇月	技能に関係ない資格は記載しないこと。
業種	職種	職種	技能士	技能士	取得年月
平成・令和 年度認定	平成・令和 年度認定	平成・令和 年度認定	第 〇 回大会	第 〇 回大会	第 〇 回大会
業種	職種	職種	第 〇 位	第 〇 位	第 〇 位
業種	職種	職種	第 〇 位	第 〇 位	第 〇 位

令和3年11月1日現在の満年齢を記入すること。(P.8参照)

本人を含む従業員数を記載すること。(P.8参照)

「表彰」・「免許・資格等」・「技能検定」
「高度熟練技能者」等
→確認資料のないものは記載しないこと。

グループで受賞したものは記載しないこと。ただし、本人の功績が著しいと認められるものは、それを客観的に判断できるものを併せて添付すること。

技能検定委員はこの欄に必ず記載し、全て確認資料を添付すること。

技能に関係ない資格は記載しないこと。

(※) 職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴について、該当する場合は記載すること。

(記載例)

調 書 (2) 都 道 府 県

(様式第3の1)

都道府県番号	都道府県名	職業部門	職種名(1)	ふりがな	ぎのう しゅういち	
〇〇	〇〇県	5	電子応用機械 器具組立工	氏名	P.11の「調書2」の各項目を参照の上、記入すること。	
卓越した技能の概要						
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性			
<p>電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。</p> <p>1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」技能と、振動を考慮した組立技能を修練し、その経験と研究の中から、信頼性の高い工法や工程を生み出したその技能は、ハイブリッド車や燃料電池車に搭載されている電子制御製品の試作でも基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。</p> <p>2. プリント板アートワーク技能 電子製品の試作では、小型軽量化が重要課題とされ、その完成度はプリント基板の部品実装密度に大きく左右される。 その中でもプリント板のアートワーク作業において、これまで培った優れたノウハウをベースに創意工夫と研究を重ね、新たなアートワークの工法を生み出した。その技能は現在標準化され、多くの電子製品の試作に適用されている。</p> <p>雅号 (〇〇 〇〇)</p>	<p>1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータと宇宙環境測定装置の製作において、米国航空宇宙局の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用コントローラの製造にも用いられ、宇宙産業事業の拡大に貢献した。</p> <p>2. モータースポーツ活動への貢献 エンジン性能の向上を目指したエンジン制御用コンピュータの試作と量産に取り組んだその結果、高性能な電子部品の組付品質の向上に貢献した。 現在、この工法は標準化され、試作品の組立法として広く活用されることとなった。</p> <p>3. 地球環境への貢献 ハイブリッドや燃料電池車に搭載する電子制御製品に対し、高い組立技能を生かし、インバータなどの新製品の早期製品化果たした。また、その工法は量産にも応用され多大な貢献を果たした。</p>	<p>1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに〇〇名を合格させ、〇〇県技能競技大会において1位入賞者〇〇名を輩出した。</p> <p>2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに〇〇人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞〇名の成績を獲得させると共に〇〇年の国際大会でも1位入賞を果たさせる等、高い指導能力を発揮した。</p> <p>3. 技能検定補佐員として〇〇年にわたり尽力し、〇〇年から検定委員として、検定(電子機器・配電盤組立て)の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。</p> <p>4. 中堅・若手技能者の育成を図る上でその核となる監督者層のスキルを向上させるべく積極的に職業訓練指導員を育成し、〇〇名を合格させた。</p>	<p>技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場管理に尽力している また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の作製作業に日々従事している。 現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。</p> <p>就業時間〇時間</p> <p>1. 新規課題の検討及び仕様書類の作製 (〇時間)</p> <p>2. 指導方法や訓練内容の検討及び改善 (〇時間)</p> <p>3. 職場内の巡視と指導員や選手への指導・教育 (〇時間)</p>			
過去の推薦回数		推薦者及び推薦理由	()又は住所)			
平成24年度	年度		年度	〒 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号 TEL〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		
年度	年度		年度	(推薦者名)		
年度	計		1回	〇〇県知事 〇〇 〇〇		
推薦順位等			(推薦理由)			
推薦順位		電子分野の試作品製作における「はんだ付け」を始め、試作品の完成されるまでに必要な電子回路技術、組付技能、計測・評価技能などの電子機器組立に関する知識・技能を積極的に活用し、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、製品化まで導いた。また、幾多の改善案を提出し、安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があり、県1位として推薦する。				
推薦総数		被推薦者の推薦に当たり、選考の対象とした全ての員数を記入すること。(P.12参照)				
選考対象者総数		36名				

必ず記載してください。

専門用語集（例）

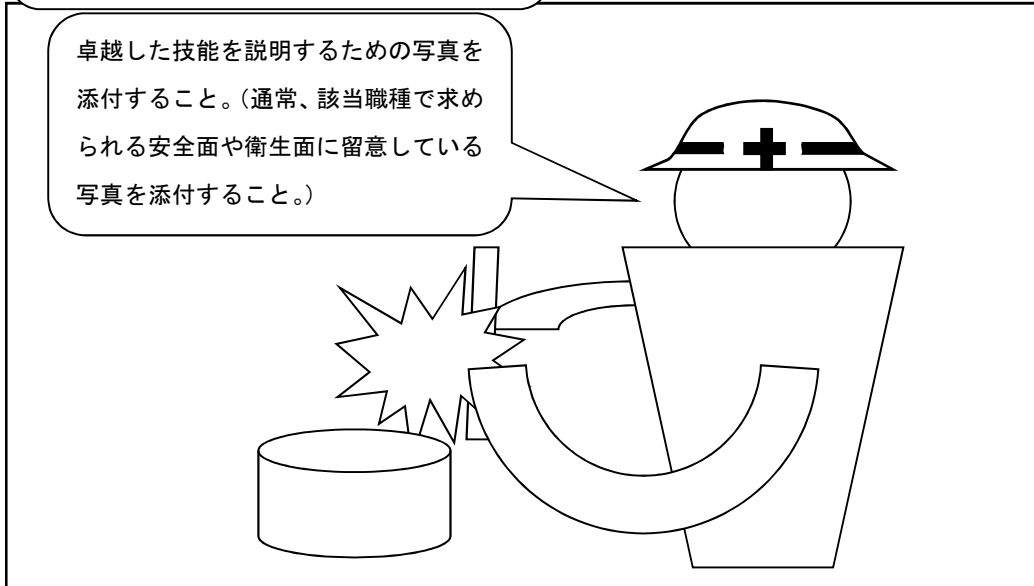
用語	ふりがな	内 容
<ul style="list-style-type: none"> 卓越した技能者の表彰 	<ul style="list-style-type: none"> たくえつしたぎのうしやのひょうしょう 	<ul style="list-style-type: none"> 卓越した技能者の表彰制度は、厚生労働大臣が我が国の最高水準にある優れた技能者を表彰することにより、技能労働尊重の気運を高め、技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年が誇りを持って技能者になろうとする社会的基盤を築こうとするものである。
<ul style="list-style-type: none"> ○○○ 	<ul style="list-style-type: none"> △△△△ 	<ul style="list-style-type: none"> ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。
<ul style="list-style-type: none"> □□ <p>.....</p>	<ul style="list-style-type: none"> △△△△△ <p>.....</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。 <p>.....</p>

記載例
(参考様式)

直近1年以内（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の作業風景写真を1枚以上添付してください。

職業部門	第5部門
被推薦者氏名	技能 秀一
撮影年月	令和2年11月

卓越した技能を説明するための写真を添付すること。（通常、該当職種で求められる安全面や衛生面に留意している写真を添付すること。）



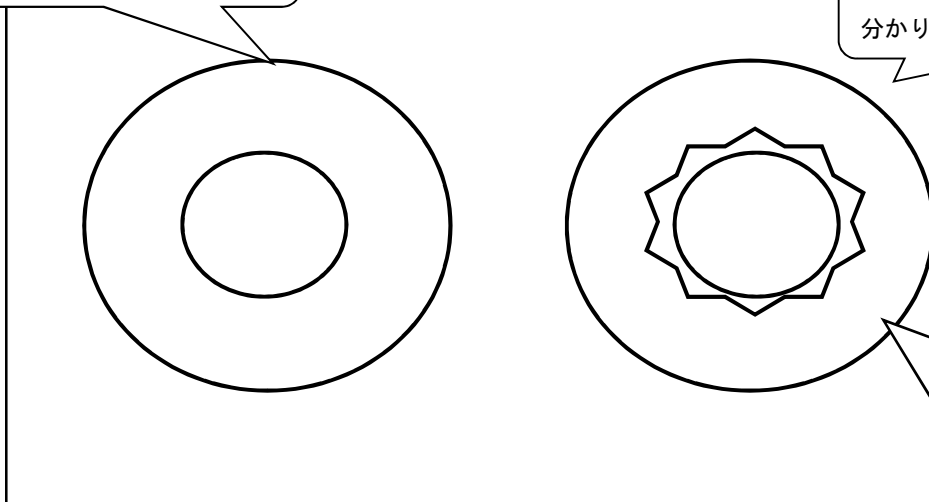
写真説明

金型の加工作業。被推薦者は長年の知見と経験を駆使し、1000分の1mm オーダーの精度で加工を行うことができる優れた技能を有している。

職業部門	第5部門
被推薦者氏名	技能 秀一
撮影年月	平成28年5月

作品や部品の説明（卓越した技能を要する部分など）があると分かりやすい。

最終的な製品や部品を並べると分かりやすい。



繊細さがポイントの場合、該当部分が分かる鮮明な写真を添付すると分かりやすい。

写真説明

写真の金型は〇〇機械において、重要な部品である。
左が通常の金型。右が左の金型に被推薦者が卓越した技能を発揮して加工した金型であり、〇〇機械の機能性を大幅に向上することに貢献した。

(記載例)

(様式第4の1)

推薦理由書

1. 被推薦者

ふりがな 氏名	ぎのうしゅういち	男 ・ 女	生年月日	
	技能秀一		明大昭平	31年12月10日(64歳)
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号		TEL〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	

令和3年11月1日現在の満年齢を記入すること。

2. 推薦者の推薦理由(具体的に記入すること。)

〇〇〇氏は、昭和〇〇年〇〇会社に〇〇工として入社し、以降終始〇〇〇の製造の業務に従事し、その間技能の研さんに努めて精励し、次のごとく卓越した技能を有し幾多の考案、改善によって生産能率の増進に貢献するとともに後進技能者の指導育成に尽くしたものであるが、特に〇〇〇の技能については業界における第一人者といわれている。

- 〇〇〇の技能
- 功績・貢献〇〇〇の考案
昭和〇〇年〇月の・・・
- 後進の指導育成

3. 推薦者の氏名等

ふりがな 氏名	△△△△ △△△△	男 ・ 女	年 歳	提出年月日
	△ △ △ △		満 〇 〇 歳	令和〇〇年〇〇月〇〇日
主要経歴	1 自営業 4 団体職員 7 学生 2 会社経営者 5 公務員 8 その他() 3 会社員 6 主婦			被推薦者との関係
				会社の上司
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号		TEL〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 E-mail〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	

推薦書提出年月日時点の満年齢を記入すること。

携帯番号など日中に必ず連絡がつく番号を記載すること。

4. 推薦者の署名

私は、以下に続く2名の賛同を得て、上記推薦理由により、技能秀一氏を卓越した技能者の表彰の候補者としてふさわしい者として推薦します。

署名 _____

以下、賛同者①の項目に続く。

(記載例)

(様式第4の2)

賛同理由書①

1. 賛同者①

(1) 被推薦者及び推薦者の氏名

被推薦者		推薦者	
ふりがな	ぎのう しゅういち	ふりがな	△△△△ △△△△
氏名	技能秀一	氏名	△ △ △ △

(2) 賛同者①の賛同理由(具体的に記入すること。)

〇〇〇〇氏は、〇〇における技能に卓越し、〇〇技術の開発に多大な貢献をした。さらに技能者の育成に尽力するなど、〇〇業界における技能振興に牽引車的役割を果たしている。
また、・・・

推薦書提出年月日
時点の満年齢を記
入すること。

(3) 賛同者①の氏名等

ふりがな	〇〇〇〇 〇〇〇〇	男 ・ 女	年齢	推薦者との関係
氏名	〇 〇 〇 〇		満 〇 〇 歳	会社の部下
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号 TEL〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		被推薦者との関係	
			会社の同僚	

携帯番号など日中に必ず連絡がつく
連絡先を記載すること。

(4) 賛同者①の署名

私は、△△△△氏が、技能秀一氏を卓越した技能者の候補者として推薦することについて、上記理由により賛同します。

署名 _____

以下、賛同者②の項目に続く。

(記載例)

(様式第4の2)

賛同理由書②

1. 賛同者②

(1) 被推薦者及び推薦者の氏名

被 推 薦 者		推 薦 者	
ふりがな	ぎ の う し ゅ う い ち	ふりがな	△△△△ △△△△
氏 名	技 能 秀 一	氏 名	△ △ △ △

(2) 賛同者②の賛同理由 (具体的に記入すること。)

〇〇〇〇氏は、〇〇における技能に卓越し、〇〇技術の開発に多大な貢献をした。さらに技能者の育成に尽力するなど、〇〇業界における技能振興に牽引車的役割を果たしている。
また、・・・

(3) 賛同者②の氏名等

ふりがな	〇〇〇〇 〇〇〇〇	男 ・ 女	年 齢	推薦者との関係
氏 名	〇 〇 〇 〇		満 〇 〇 歳	会社の部下
現 住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇号 TEL〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			被推薦者との関係
				会社の同僚

推薦書提出年月日
時点の満年齢を記
入すること。

(4) 賛同者②の署名

私は、△△△△氏が、技能秀一氏を卓越した技能者の候補者として推薦することになり、上記理由により賛同します。

携帯番号など日中に必ず連絡がつく
連絡先を記載すること。

署名 _____